



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 玉懸 博之

仙台市青葉区大町1-2-2

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406



ユネスコ憲章成立70年に想う

会長 玉懸 博之



明けましておめでとうございます。皆様健やかな新年をお迎えになられたことと思います。ユネスコは、国際連合の一機関であります。日本語では「国際連合教育科学文化機関」と表示されております。

ユネスコの正式の発足は、第二次世界大戦の終了より1年後の1946年（昭和21年）11月です。しかし、ユネスコの正式成立には前史があり、すでに第二次世界大戦の終了直後の1945年11月には、ユネスコ憲章が定立され、その序文の中に、人類諸民族の間の不戦の誓いや国際協調主義の強調など（ユネスコの中心的理念）が既に明確に示され、第二次世界大戦の直後の戦禍に打ちひしがれた当時の人々に大いなる希望を広く与えていたことは見落としがたいものです。

そして、仙台ユネスコ協会は、これらの1945年と46年のユネスコ設立の動きに反応した人々によって1947年7月19日に「仙台ユネスコ協会」の名称で成立しました。

1945年のユネスコ憲章の制定を、今起点にして数えるならば、まさにユネスコにとって、今年2015年こそが、満70年の記念すべき年に当たります。

現在、仙台ユネスコ協会の活動は、世界の人々の中の不慮の自然災害に遭遇苦悩する人々の救済や経済上の理由により初等教育をほとんど受けられない少年少女たちの救助、思わぬ交通事故のゆえに苦しむ人々への支援など、かなりの幅をもってなされている。その幅の広さは、賞讃されてしかるべきであることももちろんです。

加えて私には、上記の1945年=70年前の11月、世界大戦終了の直後に、高く叫ばれ、力強くその実現が目指された、人類諸民族間の不戦の誓いや国際協調主義の重視こそが、今後の世界ユネスコ、そして仙台ユネスコの課題の中心だと思われてなりません。微力ながら、私もこの点の実現を中心にして、ユネスコ活動に励む所存です。

2015年 1～3月の催事計画

「第17回 絵で伝えよう！ わたしの町のたからもの」 絵画展

- 1月14日(水)～18日(日)
- 東北電力グリーンプラザ

慶長遣欧使節出帆400年 記念事業合同絵画展

- 2月17日(火)～22日(日)
- 東北電力グリーンプラザ

ユネスコスクール・ESD講演会

- 2月28日(土)開催
- 仙台ユネスコ会館



Topics

ユネスコ会館事務室の移転について

現在の建物が老朽化が進み耐震上に問題があるので2016年度上期には「仙台ユネスコ会館」の解体撤去したい旨、仙台市から申し入れがありました。

移転先については現在仙台市と協会で協議中ですが、移転先が決まり次第、移転先住所・移転時期等については会員の皆様にお知らせします。

仙台ユネスコ協会70周年記念大会 & 第73回全国大会

2017年（平成29年）、日本ユネスコ協会連盟、仙台ユネスコ協会、宮城県ユネスコ連絡協議会の共催で、7月15～16日、仙台国際センターで開催予定です。

大会を成功につなげるよう会員の皆様のご参加並びにご寄附のお願いを申し上げます。詳細については、順次「会報」でお知らせします。

仙台ユネスコ協会 会員数



団体賛助会員	118
個人賛助会員	174
合計	292

(2014.11.30現在)

会員募集

あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体賛助会員 年会費	20,000円
個人賛助会員 年会費	5,000円

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。



10～12月の活動実績



2014東北ブロックユネスコ活動研究会in青森 (2014/10/18～19)



開会式の司会進行の第一声と、オープニングのユネスコの歌「手に手をとって」を、青森明^{あけほし}の星高等学校の生徒さん達が務めてくれました。

若々しく瑞々しい高校生に触れ、たいへんうれしかったです。

ユネスコの中に歳を重ねられた経験豊かな方が沢山いらっしゃいます。ユネスコ活動を通して共に対話をしながら、若い方に寄り添い一緒に時代を作って参りたいと思いました。

今回「私たち宇宙船地球号に乗る未来への旅人です」で始まるユネスコ協会ESDパスポートをいただきました。「皆さんも私たちと一緒に世界を変えるボランティア活動に参加してみませんか？」と松田昌士日本ユネスコ協会連盟会長の名が記載されていました。



(伊達洋子理事)

ユネスコカレッジ講座～奈良・平安時代に学ぶ (2014/10/22～23)



2014年度の第5回ユネスコカレッジ講座 ～ 奈良・平安時代に学ぶ ～ テーマ「仙台の古代遺跡散策と仙南の巨理・角田・白石の古代ろまんを研修」が、10月22日(水)・23日(木)の二日間にわたり開講されました。初日は仙台市富沢駅周辺の古代遺跡の散策で、仙台市文化財課の及川謙作氏が、都市整備事業で美しくなった富沢駅周辺に散在する「古代遺跡」の説明をされ、その後生憎の小雨模様のなか2時間程散策しました。無風でしたので中座する方もなく熱心に講師のお話に耳を傾けておられました。二日目は、秋晴れで仙南地方の巨理「郷土資料館と国史跡三十三間堂官衙遺跡」、角田「郷土資料館の見学・勝楽山高蔵寺」の見学、白石「白石和紙工房の見学と遠藤まし子氏のお話」を伺うという多彩なものになりました。

参加者は初日が37名、二日目が48名で、いそがしいスケジュールではありましたが、昼食の巨理の「はらご飯」にも喜んで頂き、アンケートには「初めての参加でしたが、とても有意義」「楽しく参加できました」と報告がありました。来年も楽しみにご期待ください。

(世界・地域遺産小委員会)

『伊達政宗、私たちの夢、慶長遣欧使節団の歴史的な意義と背景』のシンポジウム (2014/11/21)

平成26年11月21日(金)、仙台市博物館会場に歴史に熱心な入場者が100名余りがお集まりになりました。

パネリストの伊達宗弘氏からは政宗公が慶長遣欧使節団の派遣された歴史的な背景、支倉常隆氏からは政宗公の任務の遂行に際して、常長公がヨーロッパ各地を歴訪された地方では、現在でも史跡の保存と国際交流の形で残っている様子を伺いました。コーディネーターは佐藤弘夫氏。

入場者の方々は熱心に耳を傾けておられました。

その後、会場で伊達宗弘氏のレジメの希望者を募りましたところ、多数のご依頼がありました。



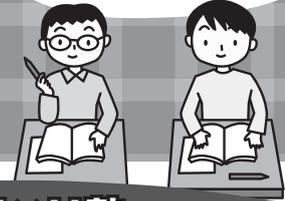
尚、開催に際しては仙台市博物館から、昨年12月の第一部「慶長遣欧使節関係資料のユネスコ世界記憶遺産登録について」会場に引き続き共催でのご協力を頂き、ホール及び機器の使用も含めて無償提供でした。感謝いたします。

(世界・地域遺産小委員会 委員長 佐藤高記)

学生部だより

学生部活動報告(9月～12月)

報告: 学生部長 島田祐輔



みなさまからのご支援を賜りまして、今年の学生部は多くの事業に挑戦する事ができました。事業を通して部員間の連携も強くなってきているだけでなく、新たな部員も続々と増えてきています。現在はSNSのFacebookを使って、定時ミーティングの様子を報告することによって、学生部の認知の拡大にも取り組んでいます。また、本文書作成段階で今年度の事業としては留学生交流会を残すだけとなりました。こちらは昨年よりも募集定員を拡大したのにも関わらず、締め切り予定前に募集人数に達するなど大変なご盛況を頂いております。

組織としての学生部は、まだまだ発展途上で未熟なところもございますが、所属する学生の各々が主体的に事業に関わろうと努力しております。皆様には引き続きご支援ご厚情を宜しくお願い申し上げます。

1 『ザ・デイ・アフター・ピース』の上映

9月21日(日) せんだいメディアテーク

「一年に一度でいいから、戦争や紛争、あらゆる暴力を止めたい」そんな夢を抱き、国連が定めた日、ピースデーを9月21日にする運動をしたジェレミー・ギリのドキュメンタリー映画。私たち日本人は平和について考える機会は少ないと思い、この『ザ・デイ・アフター・ピース』を上映することで、平和を考える機会と映画の主人公のように行動する勇気を与えられたら、と考えました。ギリが国連に乗り込み、高官を説得して「ピースデー」が定められる努力の軌跡に胸を打たれました。

(熊谷望那)

3 子どもキャンプ事前研修会



10月11日(土)～12日(日) 蔵王少年自然の家

来夏に仙台ユネスコ協会で開催予定の子どもキャンプに向けての事前研修を行いました。

「ユネスコ運動」理解の深化で、講師として白石ユネスコ協会から佐藤ユミさん、気仙沼ユネスコ協会から新野利哉さんと菊地敦さんをお招きしました。プログラムの中にはキャンプ本番を想定して野外探索や野外レク、野外炊飯など実際に体を動かして練習するプログラムと、ユネスコで行うキャンプへの理解の深化を図るための頭を使うプログラムを盛り込みました。

野外活動では、それぞれの活動で必要になる技術の練習、本番に必要なであろう準備物の予想、施設内外の本番での活用方法の想定をすることができました。また、屋内での活動ではユネスコとキャンプへの理解の深化、施設の活用方法の想定、本番のキャンプのプログラム作りの練習、本番のキャンプの大テーマの決定（「ミライ」）をすることができました。

二日間を通して学生部内外を問わず、参加者同士で絆を深めることができ、参加者の中から学生部に新しく加入した人もいました。研修を終えて、改めて振り返ってみると、事前に立てたこの研修の目的を達成して余りあるほど充実した研修会だったと感じます。

(三浦晴信)

2 U×U塾

9月11日(木)～9月22日(月) 常盤木学園

U×U塾は、学習支援を通じて高校生に仙台ユネスコ学生部の活動を知ってもらおうという目的から発案され、常盤木学園にて実施しました。理系文系をバランス良く派遣する必要があると考え、理系3名、文系4名合計7名の学生部スタッフを各日2～3名ずつ派遣しました。指導形態としては生徒からの質問を受け、それに対して学生部スタッフが答える形式をとりました。ほぼ毎日U×U塾に来室した生徒も数名おり、ユネスコの活動に興味を持ち関心を示す生徒も数名いました。イベント全体を通して、我々スタッフは伝える難しさ痛感するとともに、どのように伝えることが効率的なのかを学べる良い機会であった。これは、多種多様なイベントが多いユネスコの活動において、今後大いに活かしていけるものとなりました。今後のイベントにも生かしていきたい「ユネスコ運動」の活性化に繋がりたいです。

(高雷)

4 東北大学祭(第66回東北大学祭NPO企画)



ウッドバーニング

アロマ蒸留

11月1日(土)～2日(日) 東北大学川内北キャンパス

今回の活動においては、これまでの学生部の活動の展示、ワークショップとしてウッドバーニングとアロマ蒸留の体験を行いました。

活動の展示については、老若男女さまざまな人でにぎわう東北大学祭という場を借りて、少しでもユネスコ活動を認知してもらうことを目的として行いました。準備が足りず資料を十分に用意しておくことができませんでしたが、黒板に書いたり印刷した写真を張ったり、興味をもってくれた来場者には口頭で説明することができました。

今回は山業ビジネス&プロジェクトの庄司樹さんに講師として協力いただきました。

アロマ蒸留体験は材料や時間が限られていることもあり、何回も行うことはできませんでしたが、蒸留装置や爽やかな香りに興味を持ってくれたようでした。ウッドバーニングは教室前に飾ってあった見本をみて「やってみたい」という来場者が多く、手軽にできることから、体験者が途絶えることはほとんどありませんでした。

(菊地佑太)

5 留学生交流会

12月21日(日) 仙台国際交流センター研修室

私たち仙台ユネスコ協会学生部は、国際交流事業として12月21日に国際交流センターにて「留学生交流会」を開きました。

留学生の方々に日本の文化を知ってもらうことを目的として、お正月の行事や習慣を紹介しました。日本人と留学生合わせて60人程度の参加。

狂言師の方をお招きして狂言を英語で演じていただいたり、しめ縄作り体験や、年賀状の作成を通して、日本のお正月文化を体験してもらいました。

特にしめ縄作り体験では、苦労しながらも留学生と日本人が互いに教えあい作業する場面が見られ、参加者同士の交流の場にもなったと思います。親ユ(仙台ユネスコ協会)の方々にはお雑煮とお汁粉を作っていただき、参加者の方々に美味しく召し上がっていただきました。(仲村拓 東北大学3年)



実行委員長
あいさつ



しめ縄作り



狂言を英語で



お汁粉・お雑煮を
午前中から準備

2014年度第3回理事会



12月15日、第3回理事会が開催されました。会長以下理事、参与の方たちが出席しました。

審議事項は「参与」の推薦について、報告事項として、各委員会の活動実績及び計画2014年度11月末の現在収支状況、70周年記念大会・全国大会実行委員会報告、会館の今後についてなど話されました。午後からは各委員会に分かれて70周年記念大会・全国大会の役割など大よそ決めていきました。



次期理事・参与を募集しています!

仙台ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟を除き全国唯一の公益社団法人であります。来年度総会にて理事・参与の任期が終了いたします。会員でユネスコ協会に役員としてご協力いただける方は3月5日までに事務局にお申し出ください。

仙ユ協へのご支援 ありがとうございます!

□寄付(敬称略)

熊谷真人・玉懸博之・佐藤鏝二・松谷一夫・阿部さか江・中村孝也・伊達洋子・中島美樹子・加藤幸子・川村洋子・松良由貴子・斎藤昭雄・佐藤弘夫

和歌山ユネスコ協会の方が いらっしかったです!

UNESCOボコバ事務局長歓迎レセプション
Reception in honor of Mme Irina Bokova
Director-General of UNESCO

主催：日本ユネスコ協会連盟 協賛：イセ食品 協力：朝日、PIECE OF ICE実行委員会



ボコバ事務局長

2014/11/08

HOT NEWS

11月8日、東京都メトロポリタン・エドモンド（飯田橋）にて、イリーナ・ボコバ ユネスコ事務局長が講演。記念昼食レセプションを開催。仙台ユネスコ協会から阿部さか江副会長が出席しました。

【編集委員】

委員長：松谷 一夫

副委員長：小泉知加子

委員：兼平 敏子/菅原 京子

黄海富寿雄/西條 清和

【編集後記】 会報「仙台ユネスコ」445号をお届けします。10月から12月の行事も目白押し。2ページから4ページまで、一挙掲載いたしました。特に学生部の活動が活発ですね。留学生交流会では、留学生の方々に日本の文化を知ってもらおうと役員の方たちも総出で、おしるこや雑煮を作ったりと心こもった交流会となりました。まさに世界を一つに「仙台ユネスコ協会」らしいイベントとなりました。今後も仙台ユネスコ協会の活動をより多くの方たちに知っていただけるように編集をしていきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いいたします。(副編集長 小泉知加子)



編集会議の様子
2015/1/6